

12月5日(土曜日)「幻と服従」

【新改訳 2017】

使徒 16・6-10

「それから彼らは……ビテニヤのほうに行こうとしたが、イエスの御霊がそれをお許しにならなかった。……ある夜、パウロは幻を見た。ひとりのマケドヤ人が……立って、『……私たちに助けてください』と懇願するのであった。」(6-9節)

これはふつう、マケドニヤの幻として、特に宣教のビジョンのために用いられるお話の一部です。

多くの教訓がありますが、二つのことを学びます。第一は、何といても、世界には多くの助け(福音)を求めている人たちがいることを覚えて、宣教に励むべきだということです。次に、信仰者が良いと信じて行うことも、聖霊はそれを禁じ、別のことや方法に導かれることがあるということです。

アジアやビテニヤでの伝道は良いことであり、彼らの幻だったでしょう。しかし、聖霊はそれをお許しにならないで、別の地に導かれたのでした。

私たちも、自分たちの幻をもちつつも、神の導きに従う者で

ありますように。

～祈り～

主よ。自分の幻とあなたからの幻を識別できる者としてください。そして、あなたからの幻に従い、それを実行することができますように。

【学びのために】

箴言 29・18、16・1、2、9、19・21 など参照